

都市再生整備計画 事後評価シート
とちお「謙信」地区

平成24年3月
新潟県長岡市

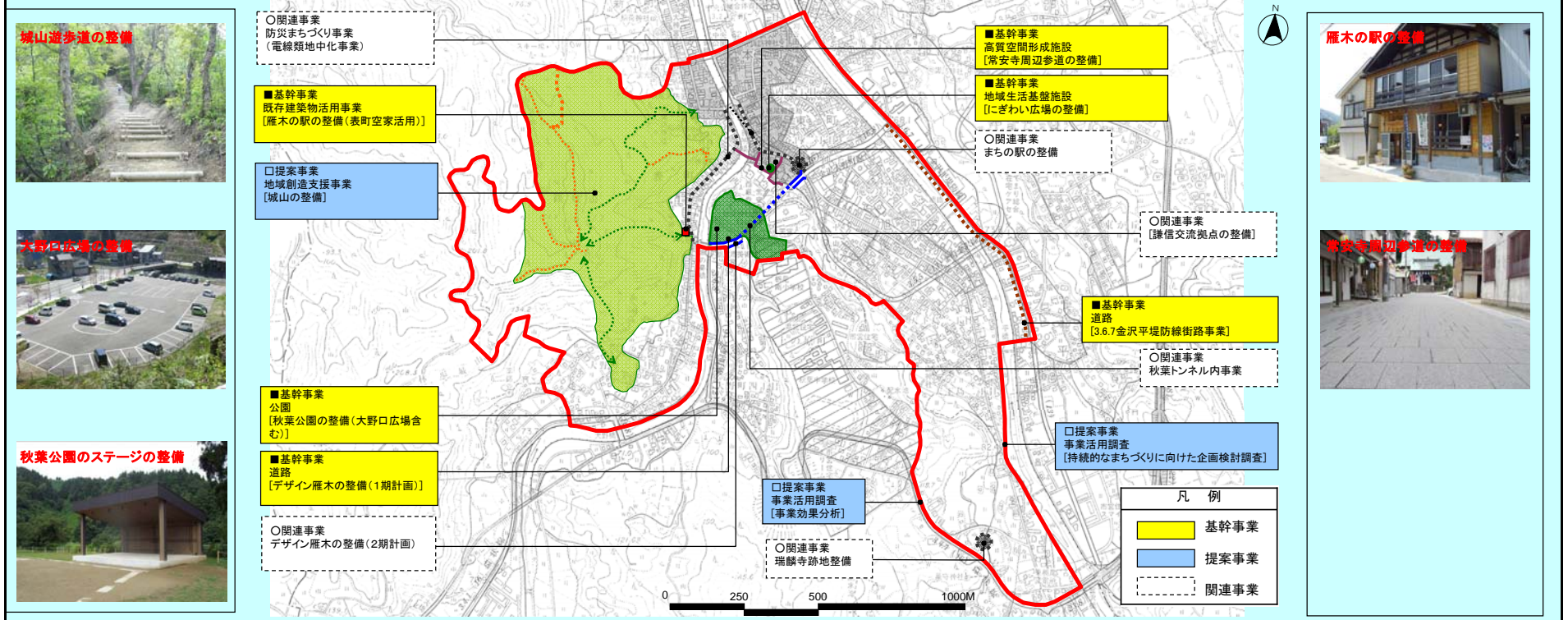
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	新潟県	市町村名	長岡市	地区名	とちお「謙信」地区			面積	164ha				
交付期間	平成19年度～平成23年度		事後評価実施時期	平成23年度	交付対象事業費	1,461百万円	国費率	0.4					
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名 道路(3.67金沢平堤防線街路事業、デザイン雁木の整備3.4.9金沢大野町線)、公園(秋葉公園)、地域生活基盤施設(にぎわい広場の整備(広場)常安寺周辺)、高質空間形成施設(常安寺周辺参道の整備市道栃尾谷内1号線他2路線)、既存建造物活用事業(雁木の駅の整備(地域交流センター)栃尾表町9番11号)										
	当初計画から削除した事業		事業名 地域創造支援事業(城山の整備)、事業活用調査(持続的なまちづくりに向けた企画検討調査、事業効果分析)										
	新たに追加した事業		事業名 ①地域生活基盤施設(ポケットパークの整備(広場)3.4.9金沢大野町線沿線) ②大布橋周辺の整備(広場)大布橋周辺 ③公共サイン整備(情報板)地区内各所 ④既存建造物活用事業(城山よつたりの場の整備(観光交流センター)) ⑤謙信交流拠点の整備(観光交流センター)										
	当初計画から削除した事業		削除/追加の理由 ①憩いの場として現況のまま維持することとしたため事業を削除 ②橋の架け替え事業の見通しがたないため事業を削除 ③長岡市が単独費で整備することになったため事業を削除 ④国庫補助の対象に該当しないため事業を削除 ⑤関連事業にて整備するため事業を削除										
	当初計画から削除した事業		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 ①街なか来訪者数には影響をおよぼすが目標は据え置く ②街なか来訪者数には影響をおよぼすが目標は据え置く ③街なか来訪者数には影響をおよぼすが目標は据え置く ④「城山」に対する関心度には影響をおよぼすが目標は据え置く ⑤まちづくり活動参加者数には影響をおよぼすが目標は据え置く										
	新たに追加した事業		①地域創造支援事業(城山山野草スケッチ編纂) ②まちづくり活動推進事業(誇りの醸成と観光活性化事業)										
交付期間の変更		当初 平成19年度～平成23年度 変更 — 交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響 —											
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因		フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)		予定時期	
	指標1	まちづくり活動参加者数	人	260	H18	290	H23	—	298	○	あり なし	秋葉公園や城山の整備により、地域住民の積極的な環境管理活動への参加が促された。	平成24年4月
	指標2	街なか来訪者数	人	44,600	H17	49,000	H23	—	56,387	○	あり なし	常安寺周辺参道、城山遊歩道、アクセス道路の整備により、地域住民と街なか来訪者との交流機会が増えた。	平成25年4月
	指標3	「城山」に対する関心度	%	60	H18	70	H23	—	61	△	あり なし	● 地域住民の環境管理活動が活発になり、1年以内に目標達成見込みである。	平成24年10月
	指標4	「城山」に対する関わり度	%	3	H18	5	H23	—	13	○	あり なし	城山遊歩道の整備などにより、植栽活動や遊歩道の管理に取り組む地域住民が増加した。	—
	指標5	「秋葉公園」に対する関心度	%	60	H18	70	H23	—	65	△	あり なし	● 秋葉公園を管理するNPO組織への参加者が増加したことなどにより、1年以内に目標達成見込みである。	平成24年10月
	指標6	「秋葉公園」に対する関わり度	%	7	H18	10	H23	—	16	○	あり なし	秋葉公園を整備することにより、秋葉公園を管理するNPO組織への参加者が増加した。	平成24年10月
指標7	「雁木」に対する関心度	%	60	H18	70	H23	—	70	○	あり なし	雁木の駅を整備することにより、地区全体の雁木に対する関心度が高まった。	—	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因		フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)		予定時期	
その他の数値指標1	ボランティアガイド利用者数	人	1,409	H19	—	—	—	4,662	—	—	整備事業により街なか来訪者が増加し、それに伴いボランティアガイドの利用者が増加した。	—	
4) 定性的な効果発現状況	・常安寺小路周辺の整備について、地元意見交換会等を通じ計画段階から地域住民が関わることで、まちづくりに対する機運が高まりつつある。また街なか来訪者を呼び込む活動が盛んになった。 ・雁木の駅の整備により地域住民と来訪者との交流機会が増加し、地域に活気が出てきた。・城山遊歩道の整備により来訪者が増加し、また地域住民の自発的な環境整備活動が促された。												
5) 実施過程の評価	実施内容						実施状況			今後の対応方針等			
	モニタリング	学識経験者を含む委員会により、各交付対象事業等の進捗状況や成果の発現状況等を把握し、その後の事業の進め方や計画の見直し、精査を行う。						都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			●	モニタリング結果を参考に各指標が、クリアーできるよう関係機関と検討したい。	
	住民参加プロセス	秋葉公園や常安寺小路の整備に関する地元との意見交換会を実施した。						都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			●	より一層地域住民との意見交換を密にし、地域主体のまちづくりを实行したい。	
	持続的なまちづくり体制の構築	既存のまちづくり主体や新たなまちづくり主体による継続的な活動を促し、まちの維持・管理活動や環境整備の実施など地域独自のまちづくりを継続的に展開する。						都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			●	NPOや各まちづくり組織に対する後方支援(補助金の交付及びアドバイス等)	

様式2-2 地区の概要

とちお「謙信」地区(新潟県長岡市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	従前値	評価	目標値	評価	従前値	目標値
大目標:多様なまちづくり主体の持続的な活動の実践と、栃尾の歴史・生活・文化、地域資源等を活かした拠点整備による誇りと活力あるまちづくり 目標1: 栃尾らしさの醸成に向けた多様なまちづくり主体による持続的な活動を促す仕組みづくり 目標2: 謙信公ゆかりの資源の活用等による求心性のある舞台づくり 目標3: 来訪者を呼び込むための仕掛けづくりと、交流空間の創出によるにぎわい	まちづくり活動参加者数	単位:人	260	H18	290	H23	298	H23
	街なか来訪者数	単位:人	44,600	H17	49,000	H23	56,387	H23
	「城山」に対する関心度	単位:%	60	H18	70	H23	61	H23
	「城山」に対する関わり度	単位:%	3	H18	5	H23	13	H23
	「秋葉公園」に対する関心度	単位:%	60	H18	70	H23	65	H23
	「秋葉公園」に対する関わり度	単位:%	7	H18	10	H23	16	H23
	「雁木」に対する関心度	単位:%	60	H18	70	H23	70	H23
	ボランティアガイド利用者数	単位:人	1,409	H19	-	-	4,662	H23



まちの課題の変化

- ・都市再生整備事業により街なか来訪者数が増加した。また、市民によるお休み処の設置など、地域住民との来訪者との交流が活発になった。今後は、栃尾の歴史的資産をさらに活用しまちづくりに最大限活かす必要がある。
- ・都市再生整備事業によりまちづくり活動参加者数が増加した。また、地域住民の積極的な環境整備活動が展開されるようになりつつある。ただし、環境整備を実施した地区のにぎわいは創出できたものの限定的であり、その他地区のにぎわい創出に向けた環境整備が必要である。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・交流人口を増やすため、都市基盤を充実させるだけでなく、本地区の歴史的資産を活かした潤いある交流環境を創出し、まち全体の総合的な魅力を高める必要がある。また、謙信公が幼少期を栃尾でどう成長し、栃尾の人達がどんな関わりを持っていたのかなど、地域住民に関心を持ってもらうような環境整備が必要である。
- ・一過性の環境整備活動にするのではなく、地域住民が持続的に環境整備活動が展開されるような仕組みづくりが必要である。また、地域住民と街なか来訪者との交流の場や、地域住民が集い、コミュニティを育む舞台の整備・拡充が必要である。
- ・地域では多くの観光ボランティアが活動している。これらの活動を支援するとともに、その精神を若い世代に繋いでいく仕組みをつくる必要がある。このために、観光ボランティアの育成に関する支援(講習会の開催など)などが必要である。

都市再生整備計画（第4回変更）

とちお「謙信」地区

新潟県 長岡市

平成24年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	新潟	市町村名	長岡	地区名	とちお「謙信」地区	面積	164 ha
計画期間	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度	交付期間	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度				

目標

- 大目標：多様なまちづくり主体の持続的な活動の実践と、栃尾の歴史・生活・文化、地域資源等を活かした拠点整備による誇りと活力あるまちづくり
 目標1：栃尾らしさの醸成に向けた多様なまちづくり主体による持続的な活動を促す仕組みづくり
 目標2：謙信公ゆかりの資源の活用等による求心性のある舞台づくり
 目標3：来訪者を呼び込むための仕掛けづくりと、交流空間の創出によるにぎわいづくり

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- 旧栃尾市は上杉謙信公旗揚げの地として全国的に名を知られ、栃尾城跡をはじめとした謙信公ゆかりの遺構や遺品が数多く残されている。また、雪国特有の建築様式であり独自の地域景観を醸し出している『雁木』は栃尾の地域資源として、今でも街並みとの調和を保ちながら大切に保存されている。しかし、旧栃尾市は主産業であった繊維産業が衰退し、中心市街地では工場跡などの遊休施設が目立つようになった。また、併せて世帯の高齢化が進み、人口と施設の空洞化が顕著である。そのため、地域の資源を活かした市街地の環境整備および都市活力の向上に向けた取り組みが求められている。
- そのような中、雁木を活かしたまちおこしを行うと、平成9年から新潟大学工学部、地元町内会(表町)、長岡市(当時は栃尾市)らの協働により、地域との調和を残しながらデザインされた看板や雁木を街並みのシンボルとして残そうと雁木づくりのプロジェクトが行われてきた。この活動は、地域住民と交流する中で発現されたアイデアをデザインとして作品に取り込み、学生が提案し、住民と学生とが手作りで製作、設置を行う活動であり、現在もその活動は継続している。
- この活動が評価され、平成13年度には国土交通省の「手づくり郷土賞」、平成14年度には総務省の「地域づくり総務大臣賞」を受賞することができた。また、平成17年度には大学側からの申し出により旧栃尾市と新潟大学工学部の間で相互交流協定が締結された。
- また、平成17年度には全国都市再生モデル調査を実施し、学識経験者や地域住民等により構成された委員会を通じて『謙信の里づくり』『雁木空間形成』計画を策定すると共に、これらの計画と連携・調整を図る中で「栃尾市中心市街地活性化基本計画」を同時期に策定している。その後、平成18年7月には栃尾商工会において「長岡市栃尾地域TMO構想」が策定されている。
- 上記活動を進める中において、上杉謙信ゆかりの地であり地域のシンボリック公園である「秋葉公園」を中心として、これまで蓄積してきたまちづくり手法を活かし、教育(幼稚園、保育園や小学校)や社会資本(公園、道路など)の環境向上に取り組むことを目的として、NPO法人「緑うおう栃尾を育む会」が設立されるなど地域住民等を主体としたまちづくり活動も展開されている。
- 当該都市再生整備計画については、平成17年度に検討された『謙信の里づくり』『雁木空間形成』計画の内容を基本としつつ、学識経験者やNPO代表等を含む地域住民により構成された「謙信の里づくり都市再生整備計画検討委員会」に諮る中で策定している。

課題

- 昭和後期～平成初頭に整備された中心商店街が景気の低迷や後継者不足により廃業が相次ぎ、活気の低下や殺風景な街並み景観となっている。
- 栃尾の誇りであり歴史的な資産である「上杉謙信公ゆかりの遺構や遺品」、『雁木』を最大限に活かし、地域の活性化や来訪者のまちなか誘導を図る必要がある。
- 「住民参加」という概念から脱却し、様々な団体や個人、公的機関が計画から参画し、実行・管理までを主体的に行うという「協働」の概念によるまちづくりを目指すため、まずは情報交換、情報集積、情報発信などを一元的に行うことのできるまちづくり拠点の整備、および住民等を主体とした持続的な活動に向けた支援を行う必要がある。
- また、各種環境整備を行うにあたっては、新規の箱物を作るのではなく、既存ストックを最大限利用した形を目指すものとする。

将来ビジョン(中長期)

- 第6次栃尾市総合計画においては、住民のまちづくり活動を支援し地域の特性や栃尾の風情を活かしたまちなみ形成の促進、秋葉公園および栃尾城址の整備、および住民と協力団体、行政の連携による雁木を活かしたまちづくりの推進を図るとされている。
- 栃尾都市計画区域の整備、開発及び保全の方針において、谷内地区ではゆとりある市街地の形成、商業環境の改善、地域の歴史を活かした景観形成、交流人口の拡大などの観点から、にぎわいと快適さの持続する都市づくりが求められている。また、表町では雁木の街並みの保全・活用を進め、魅力のある景観を有する商業地の形成が求められている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
まちづくり活動参加者数	人	「謙信の里づくり」、「雁木空間形成」等に関連する地域住民等を主体としたまちづくり協働主体数	雁木づくり活動の拠点づくりや、謙信公ゆかりの地を舞台とした持続的なまちづくり活動を促す仕掛けづくり等によるまちづくり活動参加者数の増加	260人	H18	290人	H23
街なか来訪者数	人	本地区を舞台として開催される祭り・イベントへの参加者数、及び施設や拠点への来訪者数	アクセスルートの確保や伝統的な祭りの活性化、謙信物語の醸成による来訪者数の増加	44,600人	H17	49,000人	H23
「城山」に対する関心度	%	謙信公旗揚げの場である栃尾城跡が残る「城山」に対する地域住民の関心度(アンケート調査による)	謙信公ゆかりの地を舞台とした持続的なまちづくり活動などを通じた地域住民の関心(意識)の高まり	60%	H18	70%	H23
「城山」に対する関わり度	%	「城山」の維持・管理活動への関わり度(アンケート調査による)	謙信公ゆかりの地を舞台とした持続的なまちづくり活動を促す仕掛けづくり等を通じた地域住民の関わり方(活動の質)の向上	3%	H18	5%	H23
「秋葉公園」に対する関心度	%	上杉謙信ゆかりの地であり地域のシンボリック公園である「秋葉公園」に対する地域住民の関心度(アンケート調査による)	謙信公ゆかりの地を舞台とした持続的なまちづくり活動等を通じた地域住民の関心(意識)の高まり	60%	H18	70%	H23
「秋葉公園」に対する関わり度	%	「秋葉公園」の維持・管理活動への関わり度(アンケート調査による)	謙信公ゆかりの地を舞台とした持続的なまちづくり活動を促す仕掛けづくり等を通じた地域住民の関わり方(活動の質)の向上	7%	H18	10%	H23
「雁木」に対する関心度	%	栃尾の誇りであり歴史的な資産である「雁木」に対する地域住民の関心度(アンケート調査による)	雁木づくり活動の拠点づくり等を通じた地域住民の関心(意識)の高まり	60%	H18	70%	H23

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1 : 多様なまちづくり主体の持続的な活動の維持・活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・謙信の里づくりの醸成に向けて、謙信公ゆかりの地(栃尾城址や秋葉神社等)を舞台とした多様なまちづくり主体の自律した持続的なまちづくり活動を促す仕掛けづくりや活動への支援を行う。 ・地域と大学・高校、行政等の協働により持続的な雁木づくりが行われている表町において、空き家を活用して雁木の創作・研究・情報発信の場となる拠点を整備し、雁木づくり活動の更なる活性化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン雁木の整備(基幹事業／道路) ・秋葉公園の整備[大野口広場含む](基幹事業／公園) ・雁木の駅の整備(基幹事業／既存建築物活用事業) ・事業効果分析(提案事業／事業活用調査) ・持続的なまちづくりに向けた企画検討調査(提案事業／事業活用調査)
<p>整備方針2 : 「謙信の里づくり」に向けた求心性のある舞台づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栃尾が誇る謙信公ゆかりの歴史文化資源である「栃尾城址」、「秋葉公園」、「常安寺周辺」等の魅力ある連携と、謙信公との歴史的な関わりでの演出等を図り『謙信物語』を創出する。 ・より物語性のある謙信の里づくりを実現するため、謙信公ゆかりの資産をまちなかの空き家等を活用しつつ收藏・保全していく。整備方針1で示したまちづくり主体が、活動のコアとして取り組む事により、まちなかと謙信公との関わりがより深いものとなる他、まちの回遊魅力が向上する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・秋葉公園の整備[大野口広場含む](基幹事業／公園) ・にぎわい広場の整備(基幹事業／地域生活基盤施設／広場) ・常安寺周辺参道の整備(基幹事業／高質空間形成施設／緑化施設等) ・城山の整備(提案事業／地域創造支援事業)
<p>整備方針3 : 来訪者の誘導と交流・にぎわいの創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『謙信物語』を創出する拠点となる箇所に、来訪者等を受け入れる駐車場を配置する。また、年間約40万人(平成17年)の来訪者数を誇る「道の駅R290とちお」から、まちなかや上記駐車場等へと来訪者を誘導するアクセス道路の整備を行う。 ・栃尾の誇りである各種資源を活かした参加型イベント等の開催を企画・運営し、地域住民同士および地域住民と来訪者の交流を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3.6.7金沢平堤防線街路事業(基幹事業／道路)
<p>その他</p> <p>《事業終了後の継続的なまちづくり活動》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本地区内では大学、地元住民、行政等らの協働による「表町の雁木づくり」の活動が継続的になされてきている。今後は表町での取り組みを参考にしつつ、交付対象事業等によるまちづくり活動拠点の整備や持続的な活動に対する支援を通じて、既存のまちづくり主体や新たなまちづくり主体による継続的な活動を促し、まちの維持・管理活動や環境整備の実施など地域独自のまちづくりを継続的に展開する。 <p>《交付期間中の計画の管理について》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該都市再生整備計画を策定するにあたり結成された「謙信の里づくり都市再生整備計画策定委員会」を母体とした組織を交付期間中も継続して運営する中で、各交付対象事業等の進捗状況や成果の発現状況等を把握し、その後の事業の進め方や計画の見直し、精査を行いつつ、より効果的なまちづくり施策の実現を目指す。 	

